

あなたの勇気で助かる命 ～知っていれば安心です 心肺蘇生とAED～

日本赤十字社富士見町分区 富士見町赤十字奉仕団（住民福祉課社会福祉係 ☎62-9144）



心臓が停止すると、4分以内に脳に障害が発生します。心停止となった傷病者にとっては、「心停止から除細動実施までの時間」が治療後の経過が良好であるか否かを決定するもっとも重要な要因です。放置しておけば死亡するような傷病者でも、現場で直ちに心肺蘇生が実施されれば、救命されることがあります。

もしも自分の目の前に倒れている人がいたら・・・あなたの知識と勇気で救える命があります。

万が一の時のために救急救命の方法を学んでみませんか。



第1回 救急法勉強会

受講料は無料です

- 【日 時】 7月18日(水) 午後7時～9時
- 【場 所】 富士見町保健センター（富士見町役場隣）
- 【内 容】 一時救命処置（心肺蘇生、AED）、
傷・怪我の応急手当（骨折の応急手当ての方法）等
- 【申込締切】 7月13日(金)
- 【申 込 先】 富士見町赤十字奉仕団事務局（住民福祉課 社会福祉係）
☎62-9144

この活動は、みなさまからお寄せいただいた「日赤活動資金」により行われています。

子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ～子どもの場所から～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

NPOの役割

ふじみ子育てネットワークは、2005年に任意団体として設立、2007年に長野県の特定非営利活動法人認証を受け、今日まで13年間、子ども・子育て家庭の支援に取り組んできたNPOです。

NPOの活動は、行政や営利目的の企業では届きにくい、細やかな住民ニーズをくみ上げていく営みです。その基盤をなすのは、くらしの場を共有する人たちの求めるもの、興味関心を念頭に置き、ともにより良い地域社会を作っていこうという生活者の視点です。

子育て支援分野で私たちの活動の中心事業である「子育てひろば AiAi」はまさに親子の生活の延長にあり、日々の暮らしを紡ぐ場です。そこでは、子どもは「食う寝る遊ぶ」という営みをしながら、他の子どもやいろんな大人と関わり、笑い泣き、褒められ、時には叱られ諭され、を繰り返しながらその経験を栄養に育ちます。また、親も当事者同士、悩みも喜びも共有しながら、子どもが小さい時期特有の大変さを乗り越えます。

家庭のあり方や子育ての価値観が違う者同士が一緒に過ごす場では、時にはすれ違いも生まれますが、すれ違いの原因に注意深く目を向けると、個々の問題というよりも、乳幼児期の子育て家庭の抱える社会的課題が見えてくることもあります。

個々の乳幼児子育て家庭に一番近い場所で、一人ひとりの親、子どもに関わり続けることで、個の支援と地域社会の課題改善の両面を担い実現していく、これがまさにNPOの役割です。そのNPOが、行政や民間営利活動団体とそれぞれの役割を理解して協力していくことは、地域全体の活性化につながり、21世紀型の町づくりへの貢献になると考えています。



▲お友達が捕まえてきたカエルに興味深々、みんなで覗き込んでいます